

## 有形文化財(建造物)

かさ とう ば  
笠 塔 婆

野口原 別府市美術館  
県指定有形文化財（建造物）  
昭和 47 年 3 月 21 日指定

現在、別府市美術館に立っているが、旧所在地は豊後高田市<sup>ひなたびら</sup>露陽平。総高 180cm。底部の幅が広い三角状石柱の表面を削平した塔身上に笠を置くが、宝珠は欠。表面上部に釈迦の種子（バク）、その下に大きく阿弥陀の種子（キリーク）<sup>ひらぞこぼ</sup>を平底彫りにする。その下中央部に「文永六年（1269）巳四月田五日」その両側に「造立者僧広増」「右志者為往生極楽」の陰刻がある。豊後高田市の富貴寺にある笠塔婆5基（県指定有形文化財・仁治2年〈1241〉～文永5年〈1268〉）にも広増の名があり、もともとは一連のものであったと考えられる。刻銘部分の風化が激しく、判読しにくい箇所が多くなっているが、これまでの調査により造立年、造立者名、造立の趣旨がはっきりする貴重なもの。



(小泊 立矢)